

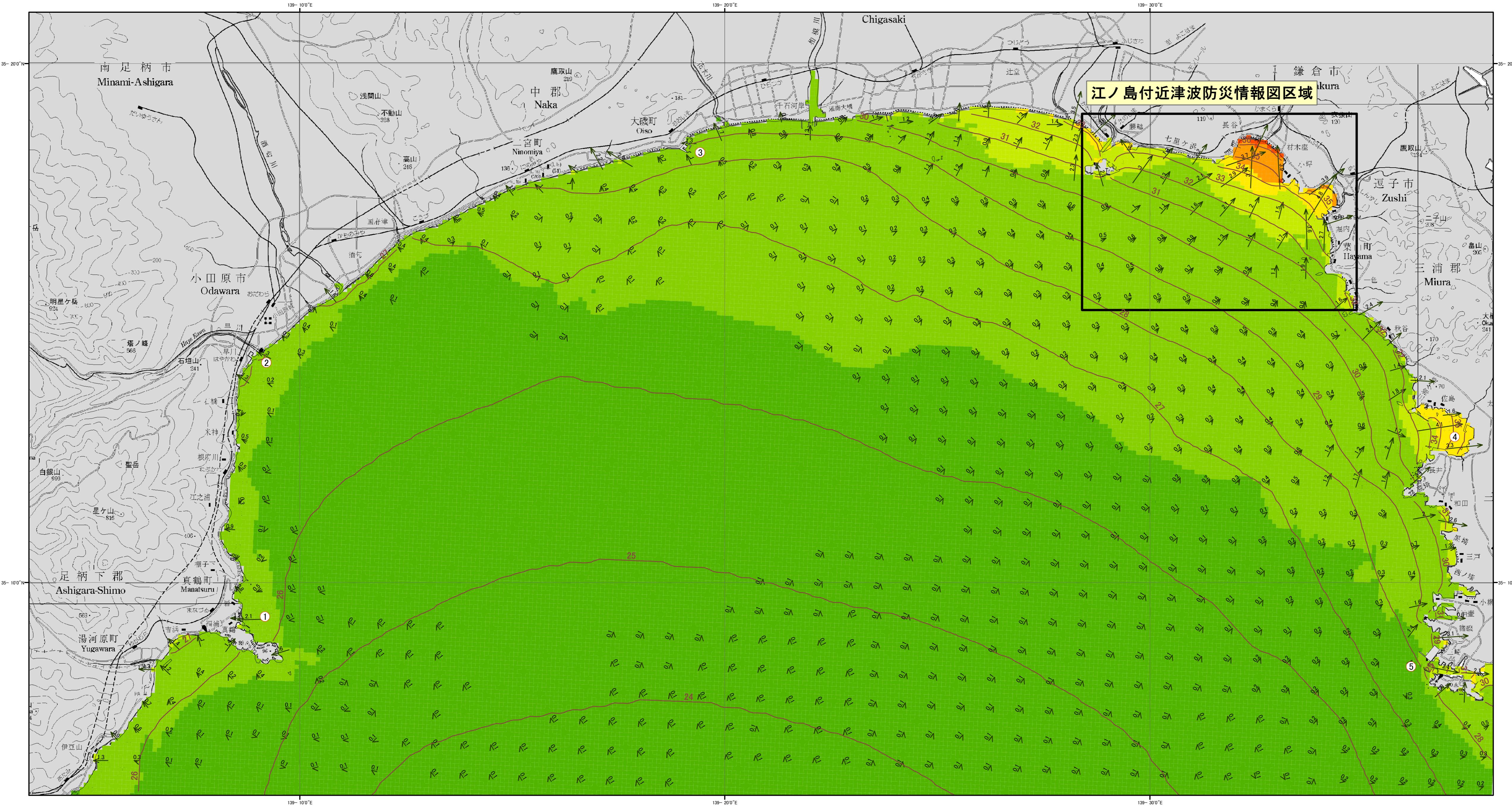
想定東海地震による相模湾津波防災情報図広域版（進入）

計算条件：最高水面・150mメッシュ

隆起量：平均-2cm(-4cm~-1cm)

この図は150mメッシュで計算した津波の概要版であり、港湾内や沿岸域の情報は必ずしもシミュレーション結果が正確に反映されていません。なお、「津波防災情報図」(50mメッシュで計算)が整備されている海域はそれを参照してください。

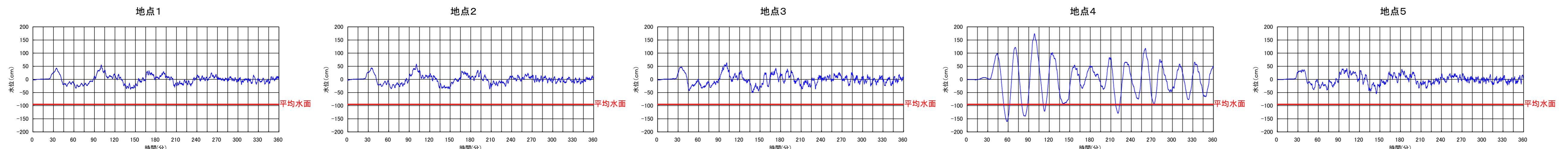
N
W E S
1:80,000
座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系(WGS84)



- この図は発災時から6時間のシミュレーションを行なって作成しています。
- 最大流の矢印は、6時間のシミュレーション時間から150mメッシュ7*7個(1050*1050m)の49個から最大のものを表示しています。
- 表示されている流速矢印は津波による流向、流速を示しており、海潮流の要素は考慮されていません。
- 津波の到達時間は、水位が100cm上昇した時点を算出しています。
- 総時変動図(水位変動のグラフ)は最高水面を基準面として、6時間の津波の水位変動を表示しています。時間による潮汐の変化は考慮されておらず、津波は計算条件の基準面に収束します。
- 総時変動図に記載されている赤線は、潮汐が無いと仮定したときの海面(平均水面)を現しています。
- 陸上の情報は海図から採用しています。
- 計算に使用した地形データは、海上保安庁海洋情報部のJ-EGG500、J-BIRD、沿岸の海の基本図地形データ及び海図を作製する際の基礎データを使用しています。

- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、国土地理院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用したものである。(承認番号平:15総使、第672号)

経時変化図：図上の位置における津波の挙動を時系列で示す。



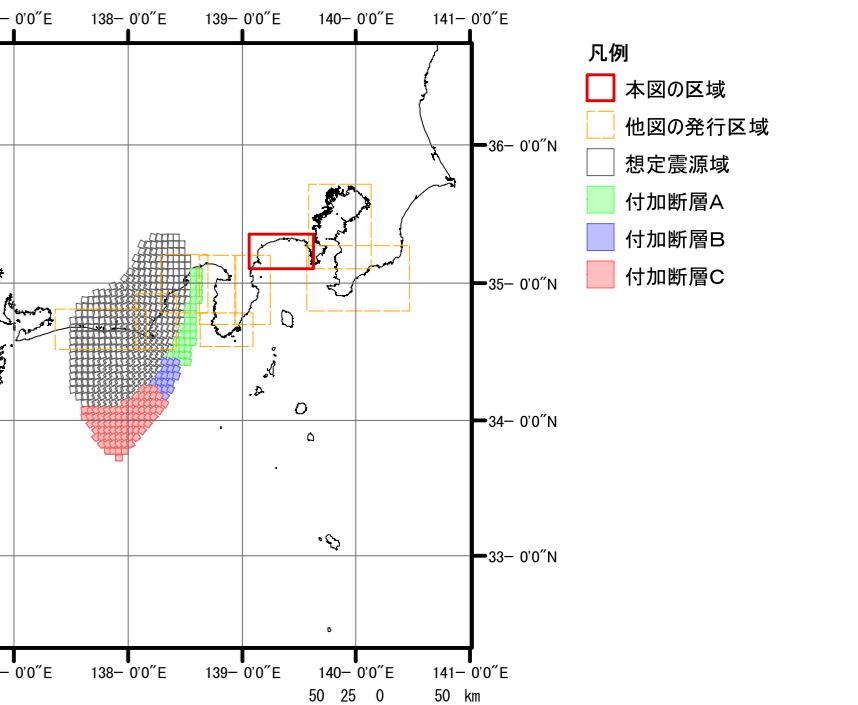
凡例

○	水位上昇(+10cm)となる等時線[分]
●	経時変化図出力点
■	最大水位上昇
250 ~ 最大278cm	250 ~ 最大278cm
200 ~ 250cm	200 ~ 250cm
150 ~ 200cm	150 ~ 200cm
100 ~ 150cm	100 ~ 150cm
50 ~ 100cm	50 ~ 100cm
50cm未満	50cm未満

進入時最大流 [knot]

→ 3 knot
→ 2 knot
→ 1 knot

本図の区域及び想定震源域と付加断層の位置



	中央の概位	中央の深さ
想定震源域	34-45' N, 138-02' E	19 km
付加断層A	34-45' N, 138-30' E	4 km
付加断層B	34-15' N, 138-20' E	6 km
付加断層C	34-00' N, 138-00' E	7 km

- 本図は、中央防災会議「東海地震に関する専門調査会」(平成13年12月11日)で公表された断層モデルを使用した。